

平成 26 年(2014 年)7 月 2 日

“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト  
川俣町の子どもたちを対象に震災直後から約 3 年間測定  
放射線量測定結果の概要を報告します

7 月 6 日（日）福島県・川俣町中央公民館で保護者向け説明会を開催

近畿大学（大阪府東大阪市）は、東日本大震災復興支援として行っている「“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト」（次頁参照）の一環として、平成 26 年（2014 年）7 月 6 日（日）に福島県川俣町が開催する児童・生徒等の保護者を対象とした説明会に協力し、ガラスバッジによる放射線量測定結果の概要について説明いたします。

### 【本件のポイント】

- 町内全ての幼稚園児、保育園児、小・中学生、延べ 16,780 人（全 11 回）を対象とした個人の放射線量を測定する積算線量計（ガラスバッジ）の配布・測定に近畿大学が協力。
- 震災直後から約 3 年間継続して子どもたちの線量を測定、提供することで町の方々の安心につなげることができた。
- 本活動はひとまず今年の 3 月で終了。これまでの測定結果を取りまとめて保護者の皆様に報告。
- 近畿大学原子力研究所、医学部の教員により、測定結果を科学的見地から分析・解説。

### 【本件の概要】

近畿大学は、震災直後から川俣町の相談を受け、「震災復興アドバイザー」として継続的に復興支援を行ってきました。ガラスバッジをつけて遊ぶ園児  
ガラスバッジの配布・測定はその支援の一つであり、原子力発電所の事故による放射線から子どもたちの健康を守ることを目的に実施。平成 23 年（2011 年）6 月から平成 26 年（2014 年）3 月まで、3 か月ごとに子どもたち一人ひとりが日常生活で受けた放射線量を測定した結果について保護者へのお知らせ、説明会や健康相談会を行ってきました。今回の説明会では、放射線を専門としている近畿大学教員からこれまでの測定結果に関する概要を保護者の皆様に説明いたします。



平成 26 年(2014 年)7 月 2 日

**【説明会プログラム】** ※近畿大学が説明するのは第 2 部のみです

- 日 時：平成 26 年（2014 年）7 月 6 日（日）9：45～12：00
- 会 場：川俣町中央公民館 3 階（福島県伊達郡川俣町字樋ノ口 11 番地）
- 対 象：川俣町内の幼稚園、保育園、小・中学校のお子様をもつ保護者

## 第 1 部 甲状腺検査結果説明（9：45～11：00）

\*担当：川俣町保健センター（TEL024-565-2279）

「甲状腺検査の内容と結果について」

東海大学医学部

教授 橋本 順

## 第 2 部 ガラスバッジによる放射線量測定結果説明（11：00～12：00）

\*担当：川俣町教育委員会（TEL024-566-2111） 協力：近畿大学

「3 年間に亘るガラスバッジによる放射線量測定結果の概要について」

近畿大学原子力研究所

教授 山西弘城

近畿大学高度先端総合医療センター 教授 細野 眞

**【“オール近大”川俣町復興支援プロジェクトとは】**

近畿大学が、13 学部 48 学科を擁する総合大学としての研究力を生かし、総力を挙げて東日本大震災に伴う原発事故により一部が計画的避難区域に指定された川俣町の早期復興を支援するために立ち上げた学部横断プロジェクトです。

地場農産物の活性化や教育・文化の育成などの「復興支援」と、除染や健康管理など被災からの「再生支援」の二面から、町の方の意見を取り入れながらサポートしています。

**復興・  
産業振興**


サツマイモ栽培実習



アートワークショップ開催



ビニルハウスでの特産品栽培



除染廃棄物の減容化


 ガラスバッジによる  
放射線量測定


セシウム除去装置

**除染・  
心身ケア**